

Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第33号 令和2年7月8日(水)

教科担任特集：6年生 算数科～村田先生の授業～

シリーズでお伝えしている教科担任特集。今日は、6年生算数科村田先生の授業風景です。村田先生は、常に子どもに寄り添いながら、全ての子どもが分かるような授業を目指して学習を進めています。優しく包み込むような話し方がとても素敵です。

授業では、解決の見通しを話し合います。その後は、みんなが答えの求め方を説明できるようにするのを目標にしています。

また、自分でじっくりと考える時間を大切にしています。40分という短い時間ですが、計算や図をもとに解決できるように応援していきます。

このため、解決方法が分からない子ども達を呼び、共に考えながら解決できるような場を設けます。こうして、一人では分からず困っている子どもも、友達と共に解決への糸口をつかみながら、自分で答えを見つけ出すことができます。

算数科では、「単位量当たりの大きさ」を大切にしています。分数のかけ算・わり算の単元では、1単位量あたりに換算して考え方を広げる練習を積み重ねます。全員が分かる喜びを感じてほしい、と日々熱心に取り組む姿が印象的でした。村田先生、ありがとうございました。

特集！生活習慣を見直そう。

一斉登校が再開して1か月近くになりました。お子様の生活リズムは元に戻りましたか？

日々、学校で子ども達の様子を見てみると、授業時間、集中して学習に取り組む姿をよく見るようになりました。

ご家庭で、積極的に声をかけ、後押しして下さっている様子がよく伝わってきます。ありがとうございます。



そこで、ご質問です。お子様は十分睡眠をとることができていますか？生活のリズムを整える為には、十分な睡眠と運動習慣が欠かせません。特に、睡眠時間の確保には、ご家庭の後押しが必要不可欠です。

十分な睡眠時間で、生活リズムが整うと…

- ① 感情が整い、辛抱強くなるそうです。不安や心配な気持ちがなくなり、落ち着いて学校生活を送ることができます。
- ② 集中力が持続するそうです。注意力が散漫することやミスが少なくなり、学習時間に集中して取り組むことができます。
- ③ やる気が高まるそうです。物事をポジティブに考え、前向きに考えることが増えることで、さらにモチベーションが高まります。

以前はできていたのに…とお悩みではありませんか？

以前はきちんとできていたのに、最近どうもできなくて…。このような場合は、もう一度生活のリズムを見直すことがよいかもしれません。

特に、SNS、動画視聴やオンラインゲームを長い間している場合は要注意です。依存症になると、昼夜逆転します。就寝前に液晶画面を見ることのないよう、少しずつ生活リズムを改善してみたいはかがでしょうか？

どのような改善をすればいいのでしょうか？

思春期真っただ中の子ども達。今までの生活リズムを全否定すると？結果は容易に想像できます。そこで、ほんの小さなステップアップをしてみませんか？

- ① 今の生活リズムを微調整する。…今までより10分早く寝る、夜寝る前1時間はスマホを見ない、など
- ② 新しい方法を取り入れてみる。…朝起きて散歩をする、先に風呂に入る、など。
- ③ 自分の原因を分析する。…原因を究明すると、改善点が見えてきます。
- ④ ご家庭で話し合いの場をもつ。…お子様と月一回生活ルールについて話し合い、決めたことを生活表などに表す

まずは「とりあえず」してみることで、解決の出口が見えるかもしれません。学校でも、子ども達が安心して生活することができるように応援していきます。

保護者の皆様、お気付きになってことがありましたら、どうぞお知らせください。